

# かたりべ54

豊島区立郷土資料館だより

新連載

## 新・豊島氏紀行《その1》

### 【法明寺】

雑司が谷鬼子母神の本坊として有名な



法明寺の参道

威光山法明寺は豊島氏ゆかりの寺でもあります。墓地には「豊島家歴代墓」と刻まれた白井勝久という人物の墓があります。勝久は江戸幕府に仕えた豊島忠次の四男で、母方の姓を名乗りました。

勝久の孫には、正徳四年（一七一四）に起きた大疑獄事件「絵島・生島事件」で有名な大奥年寄の絵島がいます。この事件で問題となった絵島の「不行状」が原因となり、兄の白井平右衛門は死罪、弟の豊島平八郎も処罰されました。しかし、事件の裏には大奥を取り巻く一大政治抗争があったとも言われ、「不行状」がどの程度のものであったかは今も不明です。

この江戸時代の豊島氏が太田道灌に滅ぼされた豊島氏の子孫であるという根拠は、今のところ系図以外には見られません。今後の研究が待たれます。【法明寺：JR・西武・東武池袋駅から徒歩約一〇分（豊島区南池袋三一―一八―十八）】  
【伊藤】



事業報告：◆東京の伝統「組紐の技と職人」◆

一九九八年度第四回収蔵品展（一九九九年二月三日～三月三十一日）

今回の展示では、日本の伝統技術のひとつの組紐をとりあげ、技の習得にたゆまぬ努力を注いでこられた職人さんの姿を、実際に使った道具類や作品をおして紹介しました。趣味として組紐にかかわってこられた方の見学が多く、来館された七六歳の女性のアンケートには、「展示されている作品を拝見して、私は、趣味以外の何ものでもなかった事とつくづく感じ、もっと早くに拝見させて頂いて、唯の一本でもいいから、自分が生きた証を組みたかったと思います。家に帰って良く考えて、私も、心から組台に向かってみます」という感想をいただきました。このような展示をおして、ご自分が紐を組んできた姿勢を振り返る方がいらっしゃることは、思いもありませんでした。

では次に、展示説明会の時のひとこまをご紹介します。これは、主催者と見学者が、展示資料をおして直接語り合える機会として開いています。今回は、展示期間中の二月六、二〇日、三月六日、二〇日（各回土曜日・午後二時から三時）、毎回二〇名前後が集まるにぎやかな楽しい会となりました。実際に紐を組む方はもちろん、そうでない方も、また、組紐に関係した職業の方や展示資料を提



土山さんの手さばきに見とれる見学者

供してくださった職人さん、あるいはそのご遺族の方たちもいらっしゃいました。「おじいちゃんてすごい人だったんだね」と、展示で紹介した職人さんのお孫さんが目を丸くして展示を見ていました。

ところで、「手四つ」という紐を組む上げる方法があります。根付けの紐によく見られる組み方ですが、丸台とか高台という紐を組む台を使って作るものではなく、「指」だけで組む方法です。よく知られている三つ編は三本ですが、これは、それよりも一本多い四本ですが、これが一本増えただけと思えますが、この四本を操作するためには、小指を含めて指一〇本全てを動かさなければならず、それ相当の訓練が必要となります。今回の展示説明会では、かつて池袋で、羽織紐や帯締めや卸商をしていた土山弥太郎さんが、急きよ、この実演をしてくださいました。時間や材料の都合で、見学者ひとりひとりの方に試みていただくことはできませんでしたが、今後は、講座等で、このような小さな体験教室を開きたいと思っています。

〔福岡〕



## 一点の資料から

# 《区長公選廃止反対のビラ》

先日の区長選挙で、新しい区長が誕生しました。ところで、戦後の一時期、こうした区民による区長の直接選挙（公選）

## 区民の皆様へ

地方自治の擁護は

民主主義を守る！！

政府は今議会で地方自治法を改悪しようとしています。

區役所を都の出張所同様なものとし、區長の公選を廃して、都知事の任命制にするつもりです。これは憲法で決められた地方分権の民主主義政治にそむきます。

私達は政治を身近におくべきです。区民の手とどかぬところに区政を渡したら、生活を守れなくなるでしょう。税金は高くなり学校や道路、ゴミは放つたらかしになるでしょう。

これは戦争中の専制暗黒政治をくりかえす結果になります。本連盟は悪法を弾き区民生活を安定するため必死の覚悟で闘っています。皆様の絶大な御協力をお願い申し上げます。

- ◎一、地方自治法改悪反対。
- ◎一、區長官選絶對反對。
- ◎一、區政官僚化絶對反對。

区民自治権擁護連盟豊島区本部

(豊島区役所内)

(当館所蔵、木村秀崇文書C35)

が実施されなかったことがあるのを覚えていらっしやるでしょうか？

上に掲載した資料は、東京二三区の区議会議員によってつくられた区民自治擁護連盟が、一九五二（昭和二七）年三月、区民によびかけたビラです。ここにあるように、国会に地方自治法改正案が出され、区長公選制を廃止しようとしていました。猛烈な反対運動がおこり、こうしたビラの配布や署名運動・集会・国会議員への働きかけなどがなされました。

もともと、東京の区は旧憲法下では、市（一九四三年以後は東京都）の内部団体的なあつかいで、区長の任免権は市長（都長官）にありました。それが、戦後の民主化によって、日本国憲法で地方公共団体の首長の住民による直接選挙が定められ、一九四七年と一九五一年に区長選挙が行なわれました。

ところが、一九五〇年代に入ると、戦後改革の見直しの動きが始まり、その一

つとして区長公選廃止が提案されたのです。その理由は、東京都の区は独立した行政を行なえる実情にない、二三区一体で行なう仕事が多い、といったものです。ビラにあるような「都知事による任命」という原案は「都知事の同意を必要とする区議会による選任」に修正され、これが成立しました。これによって、二三区以外の住民が地方選挙では四種類の選挙権を持つのに、区民は三種類の選挙権しかない、という状態になりました（公選時期の教育委員選挙を除く）。

この後、区長公選復活の運動は区議会によって他の自治権拡大問題とあわせて続けられます。また、一九六〇年代になると、住民の自治体への関心が深まるなかで、区長公選の声は強くなっていきました。こうして、一九七四年に地方自治法が改正され、翌七五年に久しぶりの区長選挙が実施されました。

(青木)



サクラの研究に朗報!

サクラに関する文献目録・文献カード・資料

今年三月、板橋区在住の元筑波大学農林学系教授・岩崎文雄氏より、サクラに関する文献カード(3ケース)と、論文や記事のコピー資料(ダンボール2箱)を当館に寄贈していただきました。

岩崎氏の専門は植物育種学で、主に菜類の研究をされていますが、サクラ研究者としても知られています。一九九一年に「ソメイヨシノの江戸・染井発生説」を提唱し、今春にはソメイヨシノの起源に関する二〇年間の研究成果をまとめた著書『染井吉野の江戸・染井発生説』を出されています。

今回寄贈いただいた文献カードは、岩崎文雄・桑原暁子編『サクラに関する文献目録(注釈付)』(一九九三年)の基礎データとなったものです。文献目録には、一八八九年から一九九一年までに刊行された和文と欧文の雑誌・単行本が収められ、一点毎に岩崎氏の注釈がついていて、研究の助けとなっています。

岩崎氏は科学論文を探す目的で文献調

査を開始し、それに付随して文学や芸術など幅広い分野の文献も集められたそうです。収録点数は和文雑誌が約一二〇〇、単行本が約三〇〇、欧文文献が約六〇〇で、目録を見るだけでも国内外のサクラの研究動向が把握できる内容となっています。(なお一九九二年以降の文献については、岩崎氏が日本さくらの会『櫻の科学』に随時紹介しています。)

岩崎氏は、集めた文献と情報を手元に置くだけでなく、サクラを研究したい人に広く活用してほしいとの願いから、文献カードや論文・コピー資料(主に欧文文献)を、ソメイヨシノゆかりの地・豊島区に寄贈することにしたそうです。

資料館では現在、文献カードとコピー資料の照合・整理作業を行ない、誰でも閲覧利用できるように準備を進めています。また岩崎氏の論文や著作、『櫻の科学』も当館に寄贈されていますので、サクラに興味のある方は、ぜひご利用ください。

〔横山〕

□恒例佳木叢書訂正□

この号から編集担当が交代します。「紙面刷新」と行きたいところですが、しばらくは前任者のやりかたを踏襲したいと思います。しかし一応、新企画として、新連載を一つ増やすことにしました(とはいっても毎号掲載されるわけではありませんが…)。ご感想など賜ればうれしく思います。

次号では、毎年恒例の戦争関連の収蔵品展についてご案内できるかと思えます。どうぞお楽しみに。

\*\*\*\*\* [伊藤]

かた り べ

No. 54

1999年6月30日発行

印刷/発行

豊島区立郷土資料館

豊島区西池袋2-37-4

☎03-3980-2351